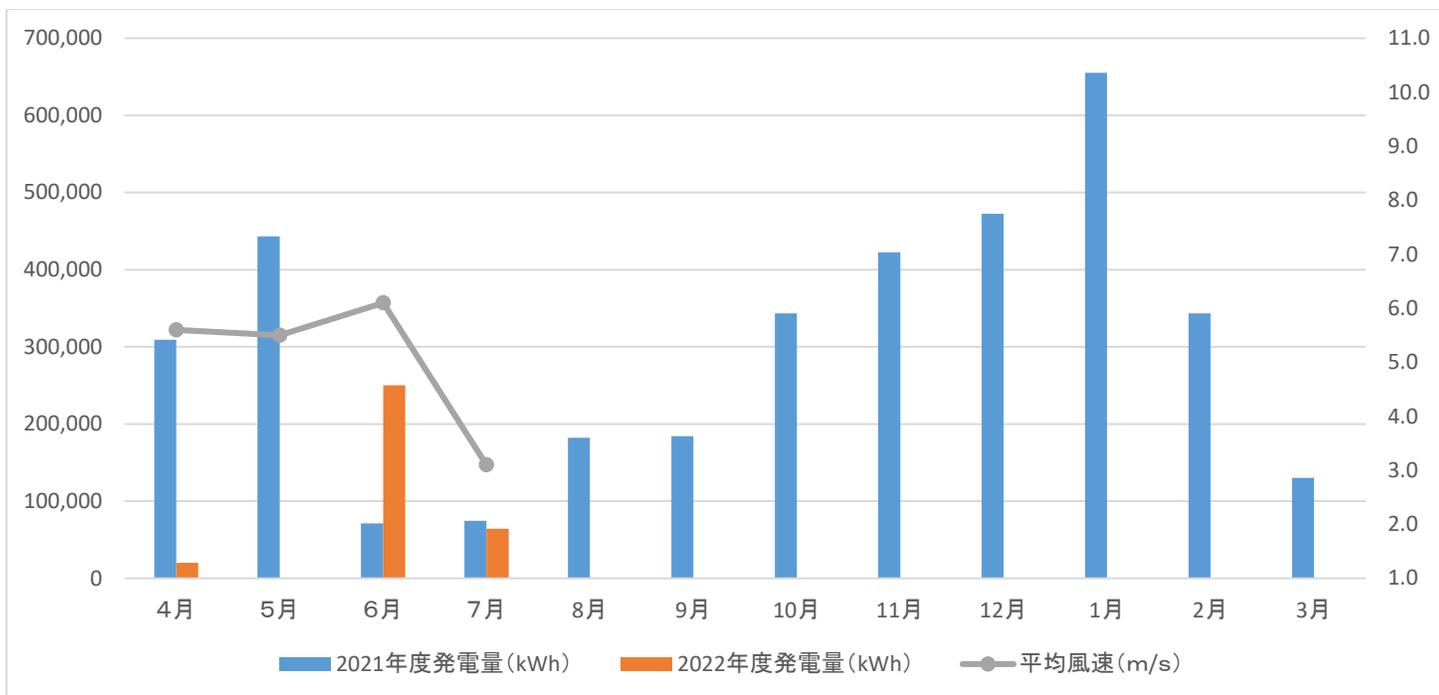


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2022年度発電実績



6月度運転状況について

- 風況は前年同月と比べ3.0m/s 高い実績でした。
- 先月から引き続き増速機交換工事を実施し、100時間連続運転後、ボルトの増締めを行い、6/20に竣工としました。
- 工事の為、稼働率は50.6%でしたが、風況が良かった為、発電量は高く前年比351.2%となりました。

7月度運転状況について

- 風況前年同月と比べ0.1m/s高い実績でした。
- 平均風速はほぼ前年並みでしたが、風の強い日が少なかった為、発電量は前年の86.4%となりました。
- 稼働率は97.7%と順調に稼働しています。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	20,059	5.6	1.4
5月	0	5.5	0.5
6月	250,123	6.1	50.6
7月	64,236	3.1	97.7
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

夢風ブランド開発生産者連絡会総会報告

8月1日、夢風ブランド開発生産者連絡会の第9回総会をオンラインで行いました。(有)三浦米太郎商店の三浦悦朗代表取締役、伊藤製麺所の伊藤実代表、日南工業㈱の前田和雄代表取締役、四つ葉ネットワークの池田強一代表、道の駅象潟ねむの丘の佐藤誠支配人、佐々木勝美係長、にかほ市総合政策課の高橋寿課長、高橋潔さん(生活クラブ担当)、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会の半澤彰浩共同代表の出席と㈱飛良泉本舗の露崎智也営業部長、芹田営農組合の遠藤組合長より書面議決があり、総会は成立しました。

夢風ブランド開発生産者連絡会の三浦悦朗会長を議長に議事審議を行いました。

第1号議案 2021年度事業活動報告 夢風ブランド品の取り組みでは、「はたはたおいる漬け」と「鱈しょっつる」でそれぞれ生活クラブ神奈川と生活クラブ千葉でレシピ提案を行い利用を働き掛けました。にかほの特産品取り組みでは、生活クラブ向けの「きりたんぼ」の原料米を芹田営農組合の「ひとめぼれ」に切り替えました。デポーにかほフェアでは、コロナの為、生産者来所は出来ませんでしたが、オンラインで夢風ブランド生産者とデポーワーカーズ、組合員との交流を行い好評でした。つづいて、会計監査報告をにかほ市総合政策課の高橋課長より頂きました。

第2号議案 2022年度事業活動計画 夢風ブランド品の共同購入を行います。「純米大吟醸・夢風」の再開発を生活クラブ神奈川と㈱飛良泉本舗と共同で行います。にかほの特産品の共同購入を行います。デポーにかほフェアに参画します。生活クラブとの交流企画、神奈川の東日本大震災復興まつりに参加します。事務局機能を高めます。以上、すべての議案は承認されました。

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会総会報告

8月12日、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会の2022年度(第10回)総会をオンラインで開催しました。

初めに、にかほ市副市長の本田雅之共同代表よりご挨拶を頂きました。続いて、生活クラブ神奈川専務理事の半澤彰浩共同代表を議長に議事審議を行いました。

第1号議案 2021年度連携推進協議会活動のまとめ にかほ市と生活クラブとの地域間連携による取り組みの推進では、「自然エネルギーによるまちづくり基金」へ2,442千円を拠出し基金の用途についても共有しました。にかほ市との交流事業の推進では、7/17組合員リーダーツアーのオンライン交流会を実施し72名の組合員の参加がありました。にかほ市観光開発㈱を通じた生活クラブの共同購入事業、デポーにかほフェアの開催など、にかほの物産の取り組みを行いました。つづいて、加藤稔監事より監査報告を頂きました。

第2号議案 2022年度連携推進協議会活動方針 にかほ市と生活クラブとの地域間連携による取り組みの推進、にかほ市との交流事業の推進、にかほの物産取り組み、大豆の取り組み、院内風力発電所の進捗共有を方針として確認しました。特に、7/23、24に実施した組合員リーダーツアーとフォーラムは参加者からの評価も高く良かったとの意見がありました。また、今後、交流の幅を広げていくために、観光協会や漁業等とのつながりを検討したいとの意見もありました。

第3号議案 役員を選任 2022年度役員は、にかほ市の本田雅之副市長、佐藤喜仁企画調整部部長、齋藤和幸商工観光部部長、池田智成農林水産部部長、原田浩一建設部部長、高橋寿氏総合政策課課長、生

活クラブの半澤彰浩神奈川専務理事、大石冬刀東京常勤理事、須長雅和埼玉専務理事、山崎倫一千葉常務理事、加藤稔神奈川常勤理事

以上、すべての議案は承認されました。

2022 年度生活クラブ組合員リーダーツアー開催報告

7月23日、24日に生活クラブ組合員リーダーツアーをにかほ市で開催しました。参加者は首都圏4単協の組合員25名とお子さん4名、グリーンファンド秋田理事4名、名古屋大学大学院の丸山康司教授、遊佐町共同開発米部会の池田恒紀事務局長、総勢35名です。

組合員リーダーツアーの1日目の様子を報告します。

7/23(土)は、秋田空港よりバスでにかほ市芹田の風車サイトに向かいました。

風車「夢風」の下で、グリーンファンド秋田代表理事の半澤専務より概要の説明を頂き、にかほ市総合政策課で生活クラブ担当の高橋さん、遊佐町共同開発米部会の池田事務局長よりご挨拶を頂きました。

つづいて、風車の運転管理とメンテナンスを委託している(株)市民風力発電の渡邊さん、坂本さん、高橋さんに、夢風と風力発電の仕組みについてのご説明と、タワー内部と変圧室の案内をいただきました。

今回、80m上空のナセルの上には、壮絶なジャンケンを勝ち抜いて参加者代表となった、埼玉単協の成田奈緒子さんが昇られました。成田さんの感想をご紹介します「代表でナセル部分に7分かけてのぼり、外に出てにかほの素晴らしい景色を見ることができました。風車のお世話をしている坂本さんに直接お会いし、お話を聞いて、親近感と共に生活クラブエナジーの応援をしたいと強く感じました。」。



左から成田さん、坂本さん



後列右端から、にかほ市総合政策課高橋さん、市民風力発電坂本さん、高橋さん、右から5人目市民風力発電渡邊さん
後列左端、市民風力発電鈴木さん、左から8人目生活クラブ神奈川半澤専務
前列左から5人目遊佐町共同開発米部会池田事務局長

つづいて、風車の土地をお借りしている芹田自治会を訪問しました。竹花自治会長、荒川前自治会長、渡辺副会長よりご挨拶を頂き、3年ぶりの組合員の訪問に熱烈な歓迎をいただきました。芹田の方々と交流を通じて、お互いの信頼感を実感することができたと大変好評でした。また、芹田自治会館でおこなった半澤専務の風車の学習会は、これまでの歩みと今後に向けてのお話がコンパクトでわかりやすかったと好評でした。



芹田自治会館にて、前列左から竹花会長、荒川前会長、渡辺副会長

つづいて、2基目の風車の院内風力発電建設予定地の見学でしたが、強い雨の為、残念ながらバスの車内での説明となりました。

1日目の最後に、「タラーメン」の生産者の伊藤製麺所の工場の見学を行いました。組合員からは、生産者さんの顔が見られて嬉しかった。頑張る若い生産者に好感が持てた。伊藤さんの熱意、一生懸命な思いが伝わってきた。工場が住宅街の中でびっくりした。などの感想を頂き、好評でした。<2日目の様子は次号で報告します。>

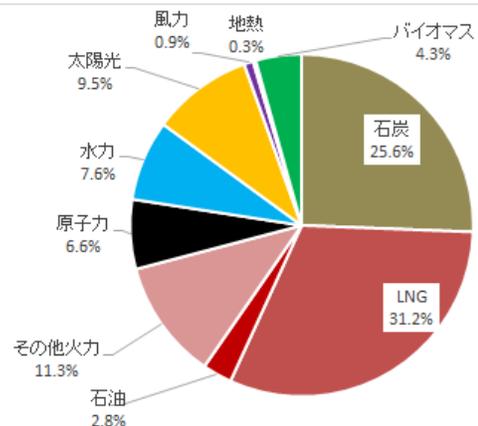
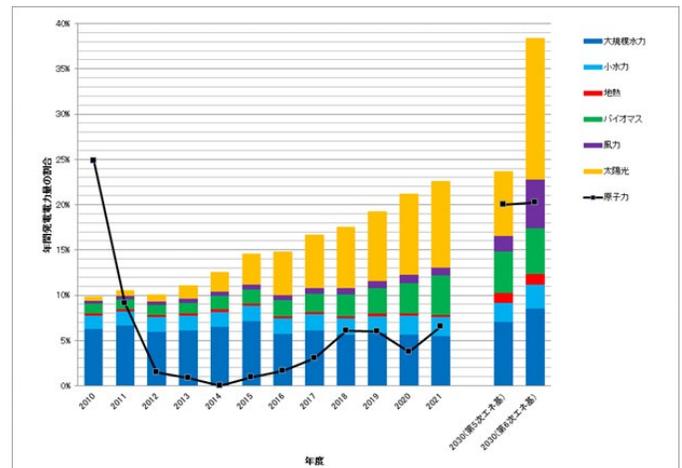
コラム 国内の2021年度の自然エネルギー電力の割合（速報）

8/15、環境エネルギー政策研究所の報告によると、日本国内での2021年度の自然エネルギーによる年間発電電力量の割合を推計したところ前年度から約1.3ポイント増加して22.6%となった。これは、第5次エネルギー基本計画で2030年度の目標とされていた目標(22~24%)に相当する。

最も増加した自然エネルギーは太陽光発電で、国内の年間発電電力量の9.5%に達し、前年度の8.9%から約0.6ポイント増えている。これは水力発電の割合(7.6%)をすでに上回っているが、第6次エネルギー基本計画の2030年度のエネルギーミックスとして示されている太陽光発電の導入目標14~16%の達成には累積導入量を約1.5倍にする必要がある。

日本の電源構成においては化石燃料の占める割合は大きく、2021年度の年間発電電力量全体の約7割にあたる70.9%に達するが、その割合は前年度から減少している。

原子力発電は、2014年度の年間発電量ゼロから九州、関西、四国での再稼働が進んだ結果、2020年度には3.7%まで一旦減少したが、2021年度は6.6%となった。それでも原発の年間発電電力量は自然エネルギーの3割未満である。



出所:資源エネルギー庁「電力調査統計」などから ISEP が作成